

2019年度 豊川サッカー協会 第8回 理事会 議事録

- ① 開催日時：2019年 12月 8日～15日
- ② 開催場所：グループメールにて協議
- ③ 出席理事：19名／19名（理事数）

【理事会メンバー】	理事長 孫 勇一	副理事長 今泉淳	副理事長 藤島良章
1 種 中野祐仁	1 種 江藤宏樹	2 種 今泉真樹	3 種 村上雄二
4 種 白井義之	4 種 鈴木宏始	5 種 大畑真樹	総務部 戸苅憲司
審判部 中垣 幹	審判部 出来可之	技術部 伊東利典	技術部 中村尚人
技術部 小野清隆	競技部 鈴木和彦	競技部 伊藤正裕	技術部 藤本善生
【オブザーバー】	競技委員 亀山延浩	副会長 富松隆文	山川 悟

④ 決議および協議事項：

【理 事 長】 ① 障がい者サッカーの事業承認の件（2020年度）

- ・12月は理事会開催予定がない中で、次年度のグラウンド先行予約の期日も迫っており、2020年度の新規事業として次ページ以降の新規事業に関して理事長より理事会に承認依頼があった。

愛知県知的障がい者連盟及び東海知的障がい者連盟の予定等のすり合わせも今後必要となるが、豊川サッカー協会として可能な限りの障がい者サッカーを協力・応援をしていくことで確認をした。

以 上



2019年12月8日(日)

豊川サッカー協会理事会 御中

豊川サッカー協会
理事長 孫 勇一

障害者サッカーの事業承認に関して

【趣旨概要】

豊川市には日本人もいれば外国人もいます。いい人もいれば悪い人もいます。若い人もいれば老いた人もいます。健常者もいれば障害者もいます。いろいろな人がいて豊川市が成り立っています。もちろん日本国も世界のどの国も同じです。

だけど、豊川サッカー協会の周りに健常者はいても障害者はいません。それは僕にとって普通ではありません。普通ではないということは異常です。

サッカー(スポーツ)は誰のためのものか?いつも自分自身に問いかけております。お金がないからサッカー(スポーツ)ができない。障害をもっているからサッカー(スポーツ)ができない。それも異常です。

もちろん、豊川サッカー協会で出来ることも限られているのも承知しております。でも少しでも何かを変える力があるのであれば、前に進むべきであり、チャレンジすべきだとも考えております。

以下、豊川サッカー協会規約の(目的)および(事業)を軸に、障害者サッカーを応援したく、豊川サッカー協会理事会に事業の承認を求めます。

【規約抜粋】

第2章 目的、事業及び組織

(目的)

第3条 本協会は「サッカーを通じて豊かなスポーツ文化を創造し、人々の健やかな暮らしと地域社会の発展に貢献する」ことを目的とする。

(事業)

第4条 本協会は第3条の目的を達成するために、次の事業を行う。

- (1) 青少年の健全育成
- (2) 社会体育の推進
- (3) リーグ戦及び各種大会の企画・実施
- (4) その他目的達成に必要な事業

【検討事業①】

開催日：2020年9月20日（日）

大会名：第8回FID東海リーグ 第2節 愛知県選抜 VS 岐阜県選抜

主催：東海知的障がい者サッカー連盟

希望会場：豊川市サッカー場

開催メリット：技術的にも高いレベルの試合を招致することで、地元の特別支援学校の児童・生徒に観戦してもらい、障害者サッカーの普及を狙う。

詳細日程：午前日程の場合

09:00 ウォーミングアップ

10:00 キックオフ

12:00 終了

午後日程の場合

12:00 ウォーミングアップ

13:00 キックオフ

15:00 終了

補足事項：上記事業はAIFAにグラウンド利用の申請中とのことです。ただし、申請が通るとも限らないとのことでしたので、仮にAIFAがNGの場合、豊川サッカー協会が確保している1種リーグ戦枠の中で対応できたらと考えております。その場合、あらかじめ大会名を付記するのか？それともAIFA確定後（2月末ごろ）に大会名を修正するのか？など、ご検討していただければ幸いです。

【検討事業②】

開催日：2020年12月5日（土）

大会名：第6回全国知的障害特別支援学校高等部選手権2020

（もうひとつの選手権）愛知県予選

主催：日本知的障がい者サッカー連盟

主管：愛知県知的障がい者サッカー連盟

希望会場：豊川市サッカー場

審判派遣：日本知的障がい者サッカー連盟から依頼あり。（3級以上）

利用時間：終日（3チームによる三つ巴戦）

開催メリット：地元メディアをフル活用し、県内における特別支援学校の活動や、障害者サッカーの現状および課題などを広報し、豊川および東三河在住の障害をもった保護者への情報提供はもとより、障害者サッカー

の存在自体が障害者や保護者の希望になるように周知する。
また、県内でも優れたピッチの市サッカー場で、障害者の生徒に、
思う存分サッカーを楽しんでもらいたいと考えます。

補足事項：愛知県知的障がい者サッカー連盟のほうで市サッカー場へのアクセス方法を
検討されているとのこと。
学校でバスの借上げをすると費用がかかり生徒に負担がかかるとのこと。
何か良い方法等あれば教えてください。

【検討事業③】

開催日：第一希望 2020 年 11 月 29 日（日）

第二希望 2020 年 12 月 6 日、第三希望 2020 年 11 月 8 日

大会名：第 19 回愛知県知的障がい者サッカーフェスティバル

主 催：愛知県知的障がい者サッカー連盟

※豊川サッカー協会との共催も検討しております。

希望会場：市民のスクエア（大会ではないので市民のスクエアを希望します。）

利用時間：未定

開催メリット：2019 年秋に開催した「みんなのサッカー」をこの事業にあて、
豊川在住の知的障害者の多くの子どもたちに参加してもらい、
サッカーを楽しんでもらいたいと考えております。

愛知県知的障がい者サッカー連盟関係者の多くは特別支援学校の
先生が多く在籍しているので、子どもたちの指導等もたけており、
そういった点を含め、私たちが享受する経験も貴重なものになり、
今後の豊川サッカー協会の糧になるものと考えます。

もちろん、豊川の特別支援学校との連携も検討します。

補足事項：検討事業②と同様に豊川市街から参加する人のアクセスの問題があります。
何か良い方法等あれば、教えてください。

【費用に関して】

検討事業の会場費に関しては、各連盟も手弁当および受益者負担での運営とのことで、僕としては、豊川サッカー協会の事業スポンサー様から預かっている費用から捻出したいと考えます。このことは、スポンサー様から応援を頂くときに障害者の事業に使わせて頂きますと説明しておりますし、理事会にもその旨報告させていただいておりますので、再度、ご確認とご了解を頂けましたら幸いです。

【最後に】

豊川の地で、健常者であろうと障害者であろうと、サッカーが上手であろうと下手であろう、たくさんの「笑顔」が豊川から日本全国に広がっていく。そんなイメージを持ちながら協会事業を進めていきたいと考えております。

理事の方々には本事業を含め、豊川で多くの笑顔が継続的に生まれるよう、ご理解とお力添えを頂けますよう重ねてお願い申し上げます。

以上